

基本計画

基本目標 5 豊かな地域資源を活かした産業、
観光の振興

(修正案)

5 豊かな地域資源を活かした産業、観光の振興

【構成する分野】：農林業、商工業、観光

課題

本市の基幹的産業である農林業の振興を図るための施策を展開するとともに、本市の観光資源である歴史、自然、文化財の魅力をさらに磨き上げ、誘客につなげる必要があります。

また、地域経済や雇用を支える中小企業を育成・振興し、市内での起業を喚起するための創業支援を推進することにより、中小企業の育成を図る一方、企業誘致を促進し、雇用の安定と拡大を目指すことが重要です。

市内を訪れる観光客数は、近年 300 万人前後で推移しており、人口減少に伴う観光客減少を補うため、外国人旅行者を取り込むことが重要となります。

さらに、地域資源等について積極的に情報発信し、認知度とブランド力の向上を図ることが重要です。

施策の大綱

- 農林業については、担い手の確保と育成に取り組み、生産基盤の整備を推進します。
- 農産物等の 6 次産業化を進めることにより経営の充実と強化を行い、特産物の開発や収益性の高い農業を推進します。
- 経営安定のための支援や創業支援を行うとともに、企業誘致を推進することで雇用の創出を図ります。
- 地域資源のブランド化を推進し、知名度の向上を目指します。
- 多様な媒体を活用した情報発信、観光客受け入れ体制の整備、広域連携の強化など集客力の向上に取り組み、国内外の観光客の誘致を図ります。

基本目標を実現するための施策体系

施策名称		施策の目指す姿
施策 14	農林業の振興	農林業の生産性が高まり、所得が向上しています。
	基本事業名称	基本事業の目指す姿
	安全・安心な食の生産	環境にやさしく、安全で多彩な農産物を身近に手に入れることができます。
	地域農林業を支える多彩な担い手の育成・確保	認定農業者、認定新規就農者等の中核的な担い手や林業後継者が育成・確保されています。
	荒廃農地等の有効利用の促進	荒廃農地の再生にあたっては、国・県の関連事業を活用した作物の作付けや、新たな耕作者による営農など、持続的な農地の有効利用が図られています。
	多様な農産物の生産による農業の振興	消費者ニーズや地域の自然条件を活かした多様な農産物が生産されています。
	環境に配慮した農業等の推進	本市の豊かな自然を保全するために、自然環境への負担を軽減した持続可能な農業を促進し、資源循環型農業が行われています。
	魅力ある新たな朝倉ブランドの開発	新たな農産物の産地化や付加価値の高い6次化商品の開発により、朝倉ブランドの魅力が高まっています。
	農業・農村の多面的機能の維持・向上	豊かな自然や美しい農村の景観、農地・農業用施設などの地域資源を守り、農業・農村の多面的機能が維持・向上しています。
	農林業基盤の整備	農林業基盤が整備され、生産性が向上しています。
	消費者との交流による農村地域の活性化	グリーンツーリズムの実施や食育の推進、直売所の魅力アップ等により農業への理解や地域の活性化が進んでいます。
	林業の振興	森林整備等を助成することで、森林林業全般の振興が図られています。

資料編 I

基本目標 5 豊かな地域資源を活かした産業、
観光の振興

(修正案)

基本目標5	豊かな地域資源を活かした産業、観光の振興
-------	----------------------

分野	農林業、商工業、観光
----	------------

施策14	農林業の振興
-------------	---------------

施策の目指す姿

農林業の生産性が高まり、所得が向上しています。

施策の成果指標

指標名	指標区分	現状値	目標値	説明
市内の農業総販売額	成果	8,515 百万円	9,000 百万円	JAの各部会の売上金額及び市内直売所における売上金額の合計です。
農林水産業総生産額	成果	—	8,500 百万円	「福岡県市町村民経済計算報告書」による年度別表1の経済活動別市町村内総生産の朝倉市農林水産業総生産額です。

施策を取り巻く環境変化と課題/施策の基本方針

●農業を取り巻く情勢は、異常気象の影響による生産量の低下や生産コストの増加、鳥獣による農産物被害の拡大、農産物貿易の自由化、国内産地間の競争激化による農産物価格の低迷などが農業経営に大きな影響を及ぼしており、農業従事者は減少し、高齢化が深刻化しています。

●農業の担い手の確保が急務であり、集落営農組織活動の充実、新規就農者の定着支援が必要となっており、一方で、食の安心・安全や地産地消など食に対する消費者ニーズは多様化し、その対応が求められている状況です。

●豊かな水源、肥沃な土壌、温暖な気候を生かし、普通作を中心に、野菜・果樹・畜産等の品目について、各種補助事業等を活用し、生産性の向上及び省力化を図るとともに、担い手への農地の集積を促進するなど、生産振興を図ります。

●新たな特産品の開発や付加価値の高い農産物の生産、エコ農産物の認証などによるブランド化を推進します。

●食の安心・安全のため、トレーサビリティやエコ農産物認証制度を推進し、地産地消に取り組みます。

●農業生産のみならず、多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払事業等の活用による地域ぐるみの景観保全・多面的機能の向上・荒廃防止等の活動を支援し、また、交流型余暇活動を通し農村地域の活性化を推進します。

基本事業の構成					
基本事業名	目指す姿	指標名	現状値	目標値	
1	安全・安心な食の生産	環境にやさしく、安全で多彩な農産物を身近に手に入れることができます。	ふくおかエコ農産物認証制度の認定件数	74件	78件
			地元農産物等の学校利用率	33.5%	40.0%
2	地域農林業を支える多彩な担い手の育成・確保	認定農業者、認定新規就農者等の中核的な担い手や林業後継者が育成・確保されています。	担い手数	391経営体	390経営体
			担い手の農地利用集積率(田・畑)	32.8%	39.7%
			担い手育成団体(林研)の会員人数	36名	45名
3	荒廃農地等の有効利用の促進	荒廃農地の再生にあたっては、国・県の関連事業を活用した作物の作付けや、新たな耕作者による営農など、持続的な農地の有効利用が図られています。	荒廃農地面積	100.3ha	95ha
4	多様な農産物の生産による農業の振興	消費者ニーズや地域の自然条件を活かした多様な農産物が生産されています。	米(米粉用・飼料用米含)の作付面積	1,853.50ha	1,850.00ha
			麦・大豆の作付面積	1,972.60ha	1,975.00ha
			野菜の作付面積	585.7ha	600ha
			果樹の作付面積	337.8ha	300ha
			牛飼養頭数(肉用・乳用)	5,041頭	5,000頭

個別計画
朝倉市酪農・肉用牛近代化計画、朝倉広域鳥獣被害防止計画、朝倉市アライグマ防除実施計画、農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想、朝倉市食と農推進計画、朝倉市食料・農業・農村基本計画、朝倉市水田フル活用ビジョン

基本目標5	豊かな地域資源を活かした産業、観光の振興
-------	----------------------

分野	農林業、商工業、観光
----	------------

施策14	農林業の振興
-------------	---------------

施策の目指す姿

農林業の生産性が高まり、所得が向上しています。

施策の成果指標

指標名	指標区分	現状値	目標値	説明
市内の農業総販売額	成果	8,515 百万円	9,000 百万円	JAの各部会の売上金額及び市内直売所における売上金額の合計です。
農林水産業総生産額	成果	—	8,500 百万円	「福岡県市町村民経済計算報告書」による年度別表1の経済活動別市町村内総生産の朝倉市農林水産業総生産額です。

施策を取り巻く環境変化と課題/施策の基本方針

●農業を取り巻く情勢は、異常気象の影響による生産量の低下や生産コストの増加、鳥獣による農産物被害の拡大、農産物貿易の自由化、国内産地間の競争激化による農産物価格の低迷などが農業経営に大きな影響を及ぼしており、農業従事者は減少し、高齢化が深刻化しています。

●農業の担い手の確保が急務であり、集落営農組織活動の充実、新規就農者の定着支援が必要となっており、一方で、食の安心・安全や地産地消など食に対する消費者ニーズは多様化し、その対応が求められている状況です。

●豊かな水源、肥沃な土壌、温暖な気候を生かし、普通作を中心に、野菜・果樹・畜産等の品目について、各種補助事業等を活用し、生産性の向上及び省力化を図るとともに、担い手への農地の集積を促進するなど、生産振興を図ります。

●新たな特産品の開発や付加価値の高い農産物の生産、エコ農産物の認証などによるブランド化を推進します。

●食の安心・安全のため、トレーサビリティやエコ農産物認証制度を推進し、地産地消に取り組みます。

●農業生産のみならず、多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払事業等の活用による地域ぐるみの景観保全・多面的機能の向上・荒廃防止等の活動を支援し、また、交流型余暇活動を通し農村地域の活性化を推進します。

基本事業の構成					
基本事業名	目指す姿	指標名	現状値	目標値	
5	環境に配慮した農業等の推進	本市の豊かな自然を保全するために、自然環境への負担を軽減した持続可能な農業を促進し、資源循環型農業が行われています。	土づくり事業対象面積	86ha	90ha
			6	魅力ある新たな朝倉ブランドの開発	新たな農産物の産地化や付加価値の高い6次化商品の開発により、朝倉ブランドの魅力が高まっています。
		特産品・新商品開発支援件数	2件		
7	農業・農村の多面的機能の維持・向上	豊かな自然や美しい農村の景観、農地・農業用施設などの地域資源を守り、農業・農村の多面的機能が維持・向上しています。	多面的機能支払交付金等事業対象面積(農地や関連施設を補助により保全されている面積)	3,191ha	3,150ha
			中山間地域等直接支払事業対象面積(中山間農地を交付金により管理されている面積)	294ha	294ha
8	農林業基盤の整備	農林業基盤が整備され、生産性が向上しています。	農業用水路の改修延長(単年度)	0m	1,010m
			農道の整備延長(単年度)	0m	250m
9	消費者との交流による農村地域の活性化	グリーンツーリズムの実施や食育の推進、直売所の魅力アップ等により農業への理解や地域の活性化が進んでいます。	グリーンツーリズム受入実績	1,141人	1,140人
			三連水車の里あさくら・ファームステーションバサロ入込客数	1,086千人	1,100千人
10	林業の振興	森林整備等を助成することで、森林林業全般の振興が図られています。	森林の整備面積(単年度)	0ha	200ha

個別計画
朝倉市酪農・肉用牛近代化計画、朝倉広域鳥獣被害防止計画、朝倉市アライグマ防除実施計画、農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想、朝倉市食と農推進計画、朝倉市食料・農業・農村基本計画、朝倉市水田フル活用ビジョン